

- 問1 7世紀半ば、中大兄皇子らによって行われた「大化の改新」と呼ばれる一連の政治改革において、それまでの豪族による支配を改め、土地と人民を国家の所有とした方針を何と呼びますか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. 外戚政治 2. 鎮護国家 3. 公地公民 4. 封建制度
- 問2 日本史の出来事を時系列に並べた際、894年の遣唐使の廃止より後で、かつ、藤原氏を外戚としない後三条天皇の即位（親政の開始）より前の時期に該当する出来事として最も適切なものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 白河上皇が院政を開始し、天皇に代わって政治を行った。 2. 聖徳太子が摂政になり、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。 3. 藤原道長が摂政になり、摂関政治の全盛期を築いた。 4. 平清盛が太政大臣になり、武士として初めて政治の実権を握った。
- 問3 10世紀の平安時代において、遣唐使の廃止などを背景に、それまでの中国風（唐風）の文化を消化・吸収しつつ、日本の風土や日本人の生活感情に合わせた独自の貴族文化が発達しました。この文化の名称として正しいものはどれですか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. 化政文化 2. 天平文化 3. 国風文化 4. 飛鳥文化
- 問4 平安時代に藤原道長が全盛期を築いた「摂関政治」において、藤原氏が政治の実権を握り続けることができた仕組みとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 地方の武士を都に集めて軍勢力を強化し、天皇を武力で威圧することで、無理やり政治の全権を委譲させる仕組み 2. 天皇が位を譲って上皇となったあとも、政治の窓口である「院」において実権を握り続け、藤原氏を排除する仕組み 3. 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の母方の祖父として政治を補佐する仕組み 4. 家柄に関係なく、試験によって優秀な人材を官僚として採用し、藤原氏の配下として政府の要職に配置する仕組み
- 問5 藤原道長や藤原頼通が、約100年間にわたって政治の実権を握り続けることができた理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
1. 娘を天皇のきさきとし、生まれた子を天皇に即位させて、その母方の親戚として実権を握ったため。 2. 唐の制度にならって律令を整備し、中央集権的な官僚機構を確立したため。 3. 位を退いて上皇となり、天皇に代わって「院」で政治の決定を行ったため。 4. 有力な武士団を組織し、武力によって朝廷から独立した政権を樹立したため。
- 問6 11世紀後半に東北地方で相次いで発生した前九年合戦・後三年合戦は、後の武士の社会にどのような影響を与えたか。その説明として最も適切なものはどれか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 朝廷が東北地方の支配をあきらめ、蝦夷（えみし）による独立国家を認めることになった 2. 平氏が西国での海賊追討を通じて、瀬戸内海の制海権を握る原因となった 3. 源氏が乱を鎮める過程で東国の武士と主従関係を結び、勢力を拡大する契機となった 4. 藤原氏が摂政・関白の地位を独占し、政治の実権を握るきっかけとなった
- 問7 平安時代末期、武士として初めて政治の実権を握り、一族で高い地位や役職を占めた人物が、経済基盤を強化するために瀬戸内海の航路を整備して積極的に進めた中国との貿易を何といいますか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 朱印船貿易 2. 日宋貿易 3. 勘合貿易 4. 南蛮貿易
- 問8 平安時代に造営された平等院鳳凰堂や、岩手県にある中尊寺金色堂などの建築物に共通して見られる、当時の社会背景や思想についての説明として正しいものを選んでください。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 鎮護国家の思想に基づき、国の平和を願って各国の国分寺に金色の仏像が設置された。 2. 武士が政治の実権を握り始めたため、質素で力強い文化を反映した仏堂が好まれるようになった。 3. 遣唐使が派遣され、中国の最新の建築様式が直接導入されたことで、大陸風の寺院建築が流行した。 4. 死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が広まったため、極楽浄土の様子を再現しようとした。
- 問9 平安時代の中期から後半にかけて、社会の混乱や末法思想の影響により人々の間で広まった、「南無阿弥陀仏」と唱えて阿弥陀仏にすがり、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰を何といいますか。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
1. 日蓮宗 2. 禅宗 3. 真言宗 4. 浄土信仰
- 問10 12世紀後半、平清盛は中国の宋（北宋・南宋）との貿易を積極的に進めるため、現在の神戸市にあたる瀬戸内海の要所に港を修築しました。この時、大型船が直接入港できるように整備された港の名称を次の中から選びなさい。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 長崎 2. 博多 3. 堺 4. 大輪田泊
- 問11 平安時代の政治の変遷について述べた記述のうち、白河上皇が院政を開始するより前の時期に行われていた、摂関政治の仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
1. 有力な武士が征夷大將軍となり、鎌倉に幕府を開いて全国の武士を統制した。 2. 藤原氏が天皇の母方の親戚となり、摂政や関白の職を独占して政治の実権を握った。 3. 位を退いた天皇が上皇となり、摂政や関白を抑えて「院」で政治を行った。 4. 唐の制度にならって律令を整備し、中央集権的な官僚制によって政治を行った。
- 問12 平清盛は、中国の宋との貿易（日宋貿易）を本格化させるため、現在の神戸市付近にあたる瀬戸内海の要所に港を整備しました。この港の名称を答えなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 大輪田泊 2. 博多 3. 堺 4. 坊津
- 問13 桓武天皇が奈良の平城京を離れ、長岡京、さらに平安京へと遷都を繰り返した背景として、最も適切な政治的理由は何ですか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
1. 平氏による武家政権の影響を排除し、貴族だけの政治を確立しようとしたため 2. 藤原氏による摂関政治が全盛期を迎え、その専横を逃れて新しい政治を行うため 3. 奈良の大きな寺院が持つ仏教勢力の政治介入を避け、天皇中心の政治を再建するため 4. モンゴル帝国の侵攻に備え、より防御力の高い内陸部へと政治拠点を移すため
- 問14 平安時代末期、白河上皇の邸宅跡からは当時の高度な文化を示す青磁などが発掘されています。このように、天皇が位を譲った後も「上皇」として自らの居所で政治の実権を握り、天皇に代わって政治を執り行う形態を何と呼びますか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 武家政治 2. 院政 3. 摂関政治 4. 合議制